

(公社)神奈川県理学療法士会災害対策委員会
第36回神奈川県理学療法士学会でブースを出しました
災害対策委員会 西澤 茂子

去る平成31年3月24日(日)にパシフィコ横浜で行われた第36回神奈川県理学療法士学会におきまして、災害対策委員会のブースを出しました。

ダンボールベッドや災害関連の冊子を展示したほか、災害時における理学療法士の役割や災害対策研修会の活動実績をパネルでお伝えしました。

ダンボールベッドは展示するだけでなく、自由に触れていただきながら、衣類や物が収納できるようになっている機能的な仕組みを見ていただきました。また、実際に寝ていただき、ベッド本体やダンボール枕の寝心地のほか、パターションの有無によるプライバシーや安心感の違い、立っても壊れない頑丈さなどを体感していただきました。多くの方に体感、見学していただいた中で、「ダンボールベッドが避難所に設置されているのを報道で目にした。」「災害グッズとしてテレビ番組で紹介されていた。」といった声が聞かれました。また、実際に職場や地域の災害対策に取り組まれている方々からは、組み立てにかかる時間や費用、収納時の大きさなどの具体的な質問もいただきました。

災害関連の冊子のコーナーでは、各家庭における備えの参考として携帯用トイレの紹介や、災害時のリハビリテーション支援～理学療法士の役割～、認知症の人と家族のための避難所での支援ガイド、大災害時における福祉用具の地域連携マニュアル、アレルギー児対応マニュアル、あかちゃんとママを守る防災ノート、JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）の資料などを展示して、多くの方に災害に関する情報をお伝えすることができました。

今回の展示を通して、大規模災害が対岸の火事ではなく、自分たちの問題として災害対策に関心を寄せている方が増えていることを感じました。

平成30年度の公益社団法人神奈川県理学療法士会災害対策委員会事業にご参加、ご協力頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。今年度も災害対策委員会では災害対策研修会やブース出展などを通して、災害対策に関する普及・啓発活動を行っていきます。より多くの方々の関心にご参加をお待ちしております。

